

重点教育目標：教師と子どもの笑顔と自信があふれる学校づくりの推進

みんな仲良く 元気よく いつもニコニコ東陽小！



学校だより

第 1 1 号

令和 6 年 1 2 月 2 4 日

美幌町立東陽小学校 文責：校長 菅原浩人

第24回オホーツク中部地区 PTA 連合会子育て研修会【11 月 23 日（土）】

その2
続きです

講師：石川尚子 氏（株式会社ゆめかな代表取締役）の講演
演題：『子どもの自発性と自己肯定感を育むコーチング』から抜粋

【子どもの自発性を引き出す言葉、引き出さない言葉】から紹介

○言い方や言葉を下記の例のように（左側⇒右側）意識して変え、学校や職場、家庭でも、必要に応じて使い分けながら実践できるようになりたいものです。

欠点の指摘

「全体としてはいいんだけど、
この部分がもう少しだね」
「もうちょっと努力が必要だね」
「また、間に合わなかったね」

成果の承認

⇒「全体的にすごくいいね。あと、
この部分を工夫すると完璧だね」
⇒「ここはすごくよくできているね」
⇒「間に合わせようとがんばっていたね」

W 否定表現

「もっと勉強しないと
成績があがらないよ」
「もっとがんばらないと
結果は出ないよ」

W 肯定表現

⇒「勉強すると、
もっと成績があがっていくよ」
⇒「ここを乗り越えたら、
あとはうまくいくよ」

「あなた（You）を
主語にして伝える言葉

You メッセージ

「やったらできたね」
「すごくがんばったね」
「手伝いできてえらいね」

「私（I）」を
主語にして伝える言葉

I メッセージ

⇒「やると思っていたよ」
⇒「私も感動した！」
⇒「手伝ってくれてすごく助かったよ」

講師より⇒ 紹介した「手法」の前に、大切な「あり方」があります
＜子どもに対する立ち位置（あり方）は・・・？＞

- ★こちらが「教えてあげないと何もできない存在」として接していないか？
- ★短所、できないところにばかり焦点をあてて指摘していないか？



こちらの「立ち位置」が、おのずと言葉に表れる
「できない人」と見ていると、「だからできないよね」という会話になりがち

＜子どもと接する際に意識したいこと＞ 「ポイント」はここです！

- ☆「可能性を持った存在」として接する
- ☆子どもにとって「この人だけは自分を見捨てない」という存在でいる

◇◇1月の主な行事予定◇◇

1月 1日(水) 元日
↓ 学校閉庁日
5日(日)
13日(月) 成人の日
16日(木) 始業式
スクールカウンセラー来校日
30日(木) 児童活動日
スクールカウンセラー来校日

<冬休み学習サポート>

12/25日(水)、26日(木)、
27日(金)の3日間

※会場は会議室

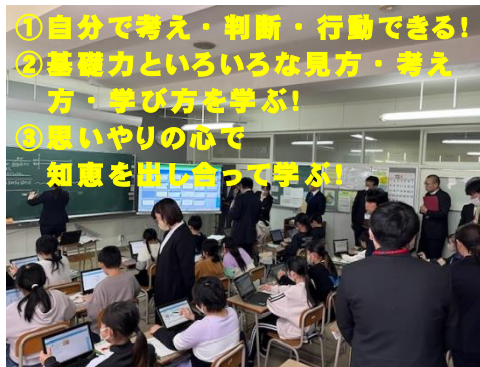
※9:30~11:15の時間内に、

自分で自分の課題を行います

東陽小学校の『公開研究会』を行いました

12月6日(金)に、美幌町内外から15名ほどの先生にご参加いただき、公開研究会(≡先生同士の授業参観&学習会)を行いました。東陽小の先生方が、東陽小の子どもたちに「自ら学ぶ力」「自ら考える力」を将来にわたり高め続けてほしいと、日々の授業で実践している取組や工夫について、参観した先生方からご意見やご助言をいただきました。

子どもたち一人一人がクロムブックを活用して、数直線や式を使い自分の考え方を深めたり、互いに説明し合ったりする学習活動を公開しました。⇒



「児童いじめ調査アンケート」の結果について【11月実施】

学校では「いじめの問題」への早期発見・早期対応を目的に、児童アンケート調査を実施しています。11月上旬に実施した結果についてお知らせいたします。

今回のアンケートでは、回答児童数230名のうち、31名から「今年の4月から11月まで、嫌な思いをしたことがある」と回答がありました。具体的には「冷やかしかからかい、悪口を言われる」「仲間外れや無視をされる」「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたりする」の回答が多かったです。回答のあった子ども達へ聞き取りを行い確認したところ、すでに指導し解決済みの事案がほとんどではありましたが、「今でも嫌な思いをしている」と答えた子が数名おり、現在も注意深くお互いの言動を観察したり、その都度事実関係を把握したりしながら、該当の子どもたち双方へのケアと指導を継続し学校全体で対応しています。

また、「嫌な思いをした時に、誰に相談しますか」の回答に「誰にも相談しない」、「苦しんだり、悩んだりして心が傷つくいじめはどんな理由があっても許されないことだと思いますか」の回答に「そう思わない」が数名おりました。この子どもたちの気持ちや不安等が何なのかが気がかりで心配しています。そのため見守り観察を継続しています。

学校では、「いじめは身近にあるもの」「積極的に認知し早期対応する」ことを常に念頭におき、「子どもたちをいじめの加害者にも被害者にもしない」という気概で、「お互いを認め・励ます」学級づくり、「ありがとう・お互い様」の奨励、「ポジティブな言葉づかい(ぽかぽか言葉)」への変換等々の取り組みと指導を根気よく繰り返しています。

昨今のニュースでは、学校・職場や子ども・大人に関係なく、様々な「いじめ」が関わる報道が多い気がしています。ご家庭でもぜひ「いじめ」について話し合う機会を設け、保護者の皆様の思いや願いをお子様に伝え続けていただけると幸いです。

～お知らせ～

- 東陽小学校のスケートリンクは現在造成作業中です。今後の天候にもよりますが、冬休み期間中にスケートリンクが使用可能になりましたら、マチコミメールでお知らせいたします。(スケート小屋横の「赤旗」が上にある時は使用できません)